

Pick Up News

定期試験も終了し、夏期休業に入りました。9月1日が成績発表、後期オリエンテーションが9月19日、そして20日からは後期の授業開始となります。さて、今号と次号では「大学院」を特集します。大学院ってどんな場所か分からない人も多いでしょうが、特に建築学科では大学院に進学する学生が多くいます。それはなぜか。一つは建築学という学問が広く、また奥深い学問だからです。大学院なんて考えていなかった学生でも、3年生、4年生と研究室での研究や設計活動を進めていくうちに、もっと学びたい、もっと力をつけたい、と思うようになる学生もいます。将来の進路や職種を考えた時に、大学院で力をつけてからではないと難しい、と感じる学生もいます。現役大学院生の声を集めました。大学院進学を一つの進路の目標としてもらいたいと思いますし、その参考になればと思います。

Q1. なぜ大学院に来たのですか？
Q2. 大学院ってどんなところ？
Q3. 大学院と学部の大きな違いは？
Q4. 大学院に来て良かったことは？
Q5. 後輩に向けて

1. 学部だけでは学ぶことの出来ないことを学び将来に生かすため。
2. 自分の研究をするところ。
3. 自由度が大学院の方が高い。
4. 研究発表など様々な経験を積むことができた。
5. 大学院だけでしか出来ない経験があるので大学院に進むのはオススメです。(M2川井直)

1. 建築設計思想の雛形を見つけたいと考えたことがきっかけです。
2. 自分も知らない、自分の好きな事柄を見つけていける場所だと思います。
3. 先生との距離が近く、解像度の高い学びがある点。
4. なにかと考える猶予があること。
5. 何事も、「好き」に正直でいて下さい。(M1高橋雅人)

1. 学部の勉強では足りないと思った。もっと知識を身につけてから働きたいと思ったから。
2. 勉強、趣味を好きなだけできること。
3. 授業を受ける人数が少ないため、先生の話をもじっくり聞ける。また、自分の意見を言う機会や発表する機会が多いので積極的に人前で話すようになった。
4. 学部では関わりが少なかった先生や企業の方とお話する機会があり、職業選択の幅が広がった。
5. 学部で就職するのも1つの手だと思うが、大学院にいったら勉強すると人生が豊かになると、選択肢が増えるので良いと思う。(M1伊藤瑠都)

1. 大学院に行ってもっと勉強したかったから。
2. 少人数なのでより深く1つ1つの授業を学ぶことができる。
3. 学部より自由な分授業もインターンやアルバイトなどやりたくたくさんできるので、時間の使い方が上手いと有意義に生活出来る。
4. 座学に加えて現場見学や町歩きなど、実際に体験しながら学ぶことができたので、そういった機会が多くありたくさん得られるものがありました。
5. がんばってください！(M2宮寺優衣)

1. 建築設計をもっと勉強したかったこと、設計に関わる他の分野の知識を深めたかったから。
2. 主な活動としては講義と研究活動があります。
3. 講義は建築見学やディスカッションなどが多く取り入れられています。
4. 研究活動として、実施設計に携わっていること。勉強する時間が増えたこと。
5. もっと留学やインターンシップに行っておけばよかったなど後悔しています。行ける時に行っておいた方がいいです。(M1神山将哉)

1. 得意分野と言えるものを作りたいかった
2. 興味がある事、やりたい事が出来る場所
3. 先生との距離が近くなり、なんでも聞きやすい
4. 学部では出来ない様々な経験を積めた
5. 大学院を考えていない人も、身近な選択肢として考えてみるというかもしれません(M2黒川慎朗)

1. 進路で悩んだ末に進学に決めた。
2. 自分のペースで研究や勉強ができる。
3. 教授の方々との距離感。
4. 学部の時よりも色々なことに時間を充てられる。
5. もし進路で悩んでいる方がいれば、進学すると時間が作れるので是非。(M1 横澤颯太)

1. 高校教員を目指していたので、教員採用試験の勉強の時間を確保しつつ、学び足りないことを大学院で学びたいと考えたので。それから研究室の居心地が良かったので。
2. 大学よりも実践的かつ専門的なことをより詳しく学べる。また、仲間との協力をよりできる。先生方とたくさん対話ができる。学校行事に参加しやすくなること。
3. レポートはあるがテストがない。教員と同級生との距離が近くなり、受動的な自分から能動的な自分になれる。大学教員以外の実際に働いているプロフェッショナルに教えてもらえる。
4. 仲間と協力体制が築けて、かつたくさん会話できたこと。学部時代より広く物事を見ることが出来る視点を学べたこと。行事に積極的に参加できること。
5. 大学院は、とにかくすごく充実した日々を過ごせます。アルバイトとの両立もしやすいです。何より、建築がもっと好きになると思います。少しでも大学院に興味を持ったなら、ぜひ入ってみてください。楽しいですよ！(M1車塚亜美)

1. 学部卒業の時点で、自身の力不足を感じていたから
2. 授業も多く建築学を専門的に学べる一方、自分で使える時間も多くなり、多様な価値観を学べる。学部は人数が多い課題が多いせいか、表現や主張できる場が少ないように感じたが、大学院では自分の意見や考えを自分の言葉で表現することが多く、物事に対しより深く考える機会が多かったように感じる。
4. 大学内の研究活動のほかに、自分の興味のあることに対して多くの時間をかけたことにより、自分が何をやりたいか、これからどのように社会と向き合っていくかを考えられたこと。
5. 今の時点で持っている自分の価値観にとらわれず、いろんなことにチャレンジしてもらいたい。その選択肢の中の1つとしての大学院進学は有意義なものだと思う。(M2豊島聡)

Pick Up Lab. 竹内研究室

は建築設計の研究室です。今年度メンバーは10名(B4:8名、M1:1名、D1:1名)の構成です。研究室では、国内外を問わず、具体的な調査を通して建築の設計を進めます。他大学との交流や合同演習なども行います。前期は、12大学13チームによる都市・建築に関する調査・設計の演習を行いました。今夏には、インドネシアにおいて、現地大学+日本の他大学で歴史的町並み再生にむけたワークショップを行いました。京都の都市調査も継続的に行っています。プロジェクトは大小多種、アプローチも多様に可能です。取り組みれば取り組むほど、都市と建築について深く考える機会が得られる研究室です。



合同演習(プレゼンテーションの様子)



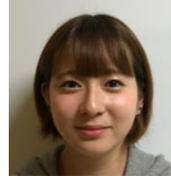
見学会参加



4年 村上 雅和くん
仙台三桜高校 出身

Pick Up Student

高校に進学した際に、一戸建てを建ててくれたのが父方の祖父が経営する建築事務所でした。普段は見ることのできない作業を見て、建築に興味を持ったのがきっかけとなり建築学科に進学しました。普段は何気なく接している建築物について、勉強して知識を重ねるに連れて見る目が変わっていくことを実感していきました。普通科出身の私も、充実した学習環境と講義に満足し、さらに同じ境遇の友人とお互いに励まし合いながら現在に至っています。人によって、課題や内容は捉え方が大きく変わってきますが、一つの「個」として考え分かち合えるような学生生活を送ってほしいと思います。今後、残りの時間を私個人も有意義に過ごせるように努めていきたいです。



2年 中島 実紅さん
酒田西高校 山形 出身

Pick Up Student

大学に入学して1年半が過ぎ、今年もあっという間に折り返し地点まで来てしまいました。学校にも慣れたことで、逆にモチベーションも下がってしまった1年後期。春休みに母に言われました。「卒業した時、あなたに何が残るの？もっと自分磨きをしなさい！」と。そこから「私は勉強させてもらってる身だったこと」「もっと勉強を頑張らないといけないこと」などあたためてモチベーションを高めて取り組む意欲が生まれました。現在私は、バイト2つ掛け持ち、ボランティアサークルたんぼぼ、学科で取り組む民家活用・再生・改修の課外活動など活動していて、充実した日々を送っています。きつかった2年前期のテスト期間。仲間とともに学科自習室で徹夜しながら勉強に励み、無事乗り越えることができて、良い思い出になりました(笑) 残りの大学生活、モチベーションを上げたまま充実したものになりたいです。